

平成9年 07月 09 日制定  
平成 10年 03月 24 日一部改定  
平成 11年 04月 01 日一部改定  
平成 12年 01月 19 日一部改定  
平成 13年 01月 17 日一部改定  
平成 13年 05月 07 日一部改定  
平成 14年 03月 28 日一部改定  
平成 16年 01月 29 日一部改定  
平成 22年 03月 11 日一部改定

## 会誌「電力土木」編集方針と投稿規程・要領

(社)電力土木技術協会 編集委員会

会誌「電力土木」は、電力土木に関する技術の進歩向上と技術者としての幅広い知識を養うとともに、会員相互の親睦をはかる目的をもって編集する。

### 1. 編集方針

会誌は、読みやすく、会員に親しまれるため、以下の事柄に留意して編集する。

- (1) 会員が関心をもつテーマを優先して編集する。
- (2) 記述の平易さ、簡潔さを重点的に考える。
- (3) 若手技術者の技術力向上に寄与出来るよう考える。
- (4) 常に社会情勢の変化に対応するとともに、広く海外の情報に目を向ける。
- (5) 技術的内容の説明は、図・表・写真等を活用して理解し易くする。
- (6) 適宜会員ニーズに応じた課題についての特集号を編集する。  
なお、官庁・電気事業者・建設業・コンサルタント業等の若手からOBまで、なるべく広い層の参加をはかるよう編集する。
- (7) 投稿論文の具備すべき条件、まとめ方、査読については別に定める投稿論文の手引きに従うこととする。

### 2. 編集内容

会誌の内容は、電力土木に関する以下の事項について編集する。

- (1) 電力土木技術に関する報告等
- (2) 前項に関連する諸情報
- (3) 論文
- (4) 内外文献目録
- (5) 会員相互の協調・融和をはかるもの
- (6) その他、会員及び協会の進歩・発展に寄与するもの

### 3. 投稿規程

会誌への投稿に際しては、上記の編集方針及び編集内容を十分に理解したうえで、原則として以下の投稿規程に基づき原稿を作成することとする。

- (1) 投稿資格は、原則として協会会員とする。ただし、連名の場合は1名以上が上記条件を満たすこととし、また著者合計は原則として3名以下とする。
- (2) 投稿原稿は未発表のものとし、その一部が他に発表されている場合にはそのことを明記する。
- (3) 会誌に掲載された個々の著作物の著作権並びに出版権は協会に委譲されたものとする。ただし著作権の行使を当該著者が自らこれを行うことは妨げない。
- (4) 他文献からの引用は、著者の責任で行う。
- (5) 投稿論文は査読を行うこととし、執筆に当たっては、別に定める投稿論文の手引きに従うこととする。
- (6) 投稿原稿掲載の採否は、編集委員会において決定する。

### 4. 投稿要領

- (1) 原稿の区分、ページ制限及びその内容は別記(原稿掲載区分)に示す通りとする。ただし、協会より特別の指示がある場合は、この限りではない。
- (2) 原稿のタイトルは、内容が簡潔かつ明確に判るものとする。
- (3) 投稿原稿印刷の校正は、著者の責任校正とする。
- (4) 投稿原稿は、掲載区分毎に指定された書式に基づきパソコンにより作成する。投稿に際しては、図・表・写真等を含みレイアウト印刷したもの及びその電子データ(出来る限りテキストファイル形式含む)を提出する。なおレイアウト表を参考にしてできるだけ余白が生じないように作成する。掲載区分で概要が必要なものは、和文概要を 250 字以内(文頭)、さらに査読が必要なものは和文概要を 250 字以内(文頭)、英文概要を 100 ワード程度(文末)を記載する。また、検索するためのキーワードを、和文概要の下に各 10 文字以内で3 ~5つを記載す

ること。キーワードは、一般名詞の使用を原則とする。

やむを得ず手書きによる場合は、本誌専用原稿用紙を用いる。専用原稿用紙(250字)8枚(10P)で組上がり1ページになる。また、ページ数の中には図・表・写真等のスペースが含まれるので別記の対字数換算表(例)によってあらかじめ本文に加算しておくとともに、挿入位置は原稿用紙右側の空白欄に示しておくこと。

なお、図・表・写真等は全体の1/3以内とし、必ずそのデータを添付する。

- (5) 原稿投稿に際しては、必ず原稿の写しを手元に保管する。
- (6) 投稿に際しては、掲載区分、著者名(複数の場合はその連絡担当者を指定)、所属団体名、役職名、連絡先住所、電話・ファックス番号を明記した別紙を提出する。
- (7) 原稿執筆に際しては、編、章、節等の見出し記号を下記の通りとする。

編	I	II	III	....
章	1	2	3	....
節	(1)	(2)	(3)	....
	a	b	c	....
	(a)	(b)	(c)	....

なお、各編、章、節中の箇条書きに用いる記号は次による。

①      ②      ③      ....

- (8) 用語は、学術用語、常用漢字、算用数字を用い、単位はSI単位とする。
- (9) 引用文献及び脚注は a) b) c) ...で、参考文献は1) 2) 3) ...の記号で本文該当箇所右上に明示し、文末にまとめて記載する。(SISTによる)
- (10) 別刷を必要とする場合及び投稿原稿のカラー印刷を希望する場合の費用増分は投稿者負担となるので、あらかじめ申し出る。
- (11) 掲載された原稿に対しては、別記に基づき原稿料を支払う。

### 原稿掲載区分

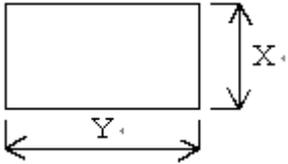
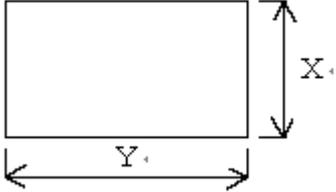
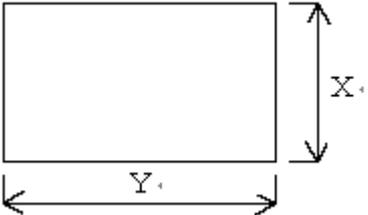
掲載区分	ページ制限	参 考		内 容	活字ポイント 書式 (文字数×行数×段数)	投稿可能なもの	概要必要なもの	査読が必要なもの
		件数	総ページ数					
巻頭言	2	1	2	電力土木技術界の向上のため広	10			

				い分野の方々からの意見を掲載する欄	(49 × 40 × 1)			
総説	6	1	6	電力土木技術向上のため第三者による建設的かつ公正な意見を掲載する欄	9 (26 × 44 × 2)		○	
論文	10	2	20	電力土木に係わる研究、調査、計画、工事等の論文	8 (30 × 52 × 2)	○	○	○
報告	3～5	22	110	電力土木に係わる研究、調査、計画、工事等の報告	9 (26 × 44 × 2)	○	○	
講座	4	1	4	若手電力土木技術者の知識向上を目的とするシリーズもの	9 (26 × 44 × 2)			
海外情報	3	1	3	諸外国における電力土木に関する活動の紹介、ビッグプロジェクト紹介および電力土木に関連する技術の紹介など	9 (26 × 44 × 2)	○	○	
技術情報	2～3	2～3	4～9	ゼネコン等で開発された新技術・工法等を紹介	9 (26 × 44 × 2)	○	○	
随筆	2	1	2	貴重な体験、経験をもとにした随筆欄	9 (26 × 44 × 2)	○		
建設所だより	2	1	2	各地の建設工事の概要や進捗状況・周辺事情等の紹介	9 (26 × 44 × 2)	○		
保守だより	2	1	2	既設備の概要やそれを保守する方々の苦労、周辺事情等の紹介	9 (26 × 44 × 2)	○		
研究所だより	2	1	2	各社研究所の概要や特徴の紹介	9 (26 × 44 × 2)	○		
海外だより	2	1	2	各社の海外事業所の活動内容、現況、当該国の概況等の紹介	9 (26 × 44 × 2)	○		
電力土木回想 ～先輩技術者からのエール～	3	1	3	在職中の体験談、苦労話および現役に対するエール・助言・苦言・等のメッセージなど	9 (26 × 44 × 2)			
大学の研究室紹介	3	1	3	電力土木のニーズにマッチした研究等の内容紹介、研究室メンバー紹介および卒業生の進路の紹介など	9 (26 × 44 × 2)			

文献抄録	1	3	3	海外文献のうち電力土木技術の向上に資する技術情報の紹介 (文献調査委員会)	9 (26×44×2)			
文献目録	2~4	1	2~4	電力土木技術者に参考となる内外の文献(文献調査委員会)	7 (34×69×2)			
技術用語解説	1/2	4	2	最近良く使用される技術用語の解説	9 (26×44×2)			
会社紹介	2	1	2	会員会社の業務内容等の紹介	9 (26×44×2)			
会員のひろば	2/3	3	2	経験談、提案、質問、近況等広く会員の情報交換の場	9 (51×24×1)	○		
ニュース	2	1	2	各地で実施している工事・時事ニュース・実務に役立つトピックの紹介	9 (26×44×2)	○		
会報	3	1	3	協会の総会、理事会、各種専門委員会、事業活動等の紹介	8 (30×52×2)			
合計			186					
資料	5	1	5	電調審、工事進捗状況、土砂堆積状況等電力土木に関する諸資料				
特別寄稿	6	1	6	電力土木技術界の向上に資するため学識経験者からの特別の意見・情報を紹介	9 (26×44×2)	○		
表彰	1	3	3	協会の毎年実施する表彰の概要と功績の紹介	9 (26×44×2)			
見学会	3	1	3	春秋見学会の概要報告(各1件)	9 (26×44×2)			
海外調査報告	6	1	6	海外調査事業の概要報告	9 (26×44×2)			
新年挨拶	1/2	6	3	会長、官庁、その他	9 (54×16×1)			
座談会	9	1	9	中堅電力土木技術者による時宜に適したテーマ	8 (30×52×2)			
総目次	3	1	3	年一回当該年の目次を分類整理	7 (34×69×2)			

合計		38					
----	--	----	--	--	--	--	--

図・表・写真等対字数換算表(例)

タイプ	印刷の大きさ(cm)	X, Y	字数	備考
A		X=6 Y=8	286字 (11行)	写真は極力 このタイプに すること
B		X=12 Y=17	1144字 (22行×2) (約半頁)	
C		X=17 Y=25	2288字 (全頁)	

注：原図は印刷の大きさの2～3倍以下とすること。

字数は、文字の大きさが9Pを基準とする。